

モクマオウ

か めい
科名 モクマオウ

がくめい
学名 Casuarina equisetifolia

べつ めい
別名 トキワギョリュウ



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 オーストラリア^{げんさん}原産。^{おきなわ}沖縄、^{おがさわら}小笠原で
やせいか
野生化

は かたち
葉 の 形 せんけい
線形

は ぶち
葉 の 縁

は さき
葉 の 先

は しゆるい
葉 の 種類

は つきかた
葉 の 付方

は きぶ
葉 の 基部

み しゆるい しゅうごうか
実 の 種類 集合果

はな がくいろ おぼな たんはくしよく
花 ・ 萼 色 雄花は、淡白色

せつ
めい
明 説 ぼうふうほあんりんなどの^{もくてき}目的として^{しよくりん}植林されており、^{たか}高さ7-10m、^{たつ}ときには20mに達する^{じょう}常
りよく^{こうぼく}の高木です。^{わかえだ}若枝には^{はいはくしよく}灰白色の毛が^け密に^{みつ}生えませんが、^なのちに^な無くなります。^{みどりいろ}緑色で^は葉の
ように見えるのは^み小枝で、^{こえだ}針のように^{はり}細く^{ほそ}垂れ^た下がり^さ長さは^{なが}13-25cmになります。実は^み集
ごうか^{だえんけい}合果、^{なが}やや^{めいじ}楕円形で^{ねん}長さ^{たいわん}1.3-2cmです。^{たね}明治41年に^{どうにゅう}台湾より種が導入されました。